

平成22年6月25日(金) 東原小学校 参加者11名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：借金の状況や経常収支比率について、広報で掲載されているがわかりにくい。人件費を削減したことは知っている。個人的に調べたが、埼玉県下でも職員の給与は低い方だと思う。将来的に上げていくのか抑えるのか、方向性を示さないと職員も頑張れないのではないかと。目標値を定めるべき。議員報酬も少ない。

ふじみ野市が県下において、どのレベルにあるのか、どうしたいのか、大変、大変と言われてもそれだけでは分からない。

文化財(河岸記念館)や観光事業など、支出に対し収入が少ないと思う。民間では収入が少ない事業は見直される。市でも同様に考えるべきで、数年間市政への提案として出しているが改善されない。

県下の状況などを用い、分かりやすく判断できるよう公表して欲しい。進捗状況などもあわせて公表するなど検討していただきたい。

市長：経常収支などは合併の影響により悪化した面や逆に恩恵を受けた面もあります。経常収支比率も平成17年度決算の県内ワースト1から徐々に改善され、平成20年度決算はワースト3になったが、まだまだ改善の余地があるので一つひとつ改善していきたいと考えます。公共施設も重複は多いが、両方を廃止して新たな施設を設置するのは、全ての施設で出来るわけではなく、判断が必要になります。

議員報酬は確かに低く、定数の問題にも影響するので、急激に減らすのが良いか判断が分かれず。議員報酬も生活を維持するくらいは必要ではないか、他の給料がある場合は抑えろとか、自分の仕事を投げうってまで議員となる場合は一定程度保障するとか、報酬のあり方の検討なども必要ではないかと考えます。

給料については、市長として模範を示す意味でも減額しています。職員給与の削減については、最後の最後とっていますが、手当などは、目標に対する実績に応じて増減させる事などは手法の一つと考えます。

消防署なども老朽化の課題があります。現在の消防施設機能として、指令台などは要援護者の情報を入力しておけば分かる様なものもあり、実際に

導入している自治体もあります。防災については、命を守るという意味からも力を入れて行きたいと考えます。

参加者：大井は分館を、上福岡は集会所を一時的な避難所にして欲しい。分館は庭があり、防災倉庫が置ける。

みほの地域の緊急避難場所は勝瀬小で、非難生活場所は東原小になっている。東原親水公園は夜、外灯が消される。避難場所については、よく考えて欲しい。身近にあれば市民の意識も高まると考える。

市長：場所によって、電車の終電に合わせて外灯を消している公園があります。災害時は、学校などの非難場所まで移動するのが困難な状況も考えられます。非常時には職員の参集が困難な場合もあり、また、職員だけでは対応できない状況も考えられるため、地域の協力が必要となります。多くの方が集まる事ができ、協力し合える場所が避難場所としてよいと考えます。防災用具など身近に置く場所としての活用などはそのとおりです。

参加者：複数の施設を統合する事は、利用者からすれば不便。そこが無くなれば移動できなくなり、活動が無くなってしまうのもある。それと職員削減についてどのように考えているのか。

市長：ふじみ野市は96施設のうち30施設が新耐震基準を満たしていません。県庁も耐震補強を行っていますが、耐震補強したからといって絶対倒壊しないというわけではありません。今まであった施設が無くなるのは、確かに不便です。コンパクトなまちなので、不便にならないよう循環バスを利用することもできます。例えば、バスも費用対効果からみれば疑問だが、急に無くすのではなく、市内全域を走らせたり、庁舎や駅に乗り入れたり、広告収入なども考え、利便性を向上させるなどテストしながら検討したいと思います。

複数の施設を維持するのは難しいので、例えば、図書館は西側地域、公民館は東側地域などという観点で配置するとか、交通手段の拡充など代替措置の対応も考えられます。職員数や施設の老朽化、耐震性の課題もあるので、利便性を損なう事のないよう考えてまいります。

参加者：未耐震施設は、廃止を前提に考えているのか。財政は厳しいかも知れないが、利用者がいるのだから、使えるものは長く使った方が良い。

参加者：給食センターなど各種公共施設があるが、借地の状況はどうなっているのか。老朽化施設とあわせ借地の問題も含め検討した方が良いのでは。

市長：資産の売却など、これまでも進めてきましたが、借地が非常に多くあります。借地を購入するか返却するか、については、その必要性などを慎重に判断しながらも、現在は返却の方向で進めています。また、借地は基本的には買わない事としています。過去においても借地をするしないについては、その時点で慎重に政策判断をした中で進めてきています。上福岡地域では、国有地もあり、国から借りている用地に建っている学校もあります。現在では、全体で約1億4千万円の賃借料を払っています。

参加者：そういうことは市民は知らない。どんどん開示してほしい。
自販機も収益を生むように、単純に貸すだけでなく、様々な比較検討を行っていただきたい。そういうところからも財源を生み出さなければ、やっていけない。

市長：市内循環バスの路線マップも広告収入で作成しました。バスについても現在の費用の中で運行する策を考え、ラッピングなどの広告収入も検討しています。また、そういう情報も出していきたいと思います。

参加者：みほの地区はふじみ野市より富士見市の方の関連が大きい。例えば、ふじみ野市から成人式の案内が来ても、子供達は勝瀬小に通っており、友達がいないので、ふじみ野市の成人式には参加しない。その辺はどのように考えているか。ふじみ野市と富士見市の話し合いは出来ているのか。
非難場所の問題でも意見を言って、勝瀬小やふじみ野小に一時避難場所として見直しをしていただいた。行政界に近い住民について、住民どうし、町会どうし話合いの場をつくってほしい。

市長：確かに成人式までは考えていないと思います。富士見市から通知が届かないと行きづらいでしょうから富士見市と調整します。

参加者：他市への学校事務委託など、ふるさとの意識が薄くなってしまう。市の中央には目が行くが、行政界の地域にも目を向けてほしい。もっともっと交流を図ってほしい。

市長：何千項目の行政の事務のなかで、なかなか行き届かないところもあります。細かいところに目配り気配りをしていきたいと思います。

20：47 閉 会

